

交通ルールを確認しよう

新学年がスタートして約1ヶ月が過ぎました。新しい環境にも慣れてきたこの時期は、突発的な交通事故が増える傾向が見られます。学校では、次の交通ルールを生徒に確認して安全な登下校を心掛けるように指導します。各ご家庭でも登下校以外の家庭生活の場面で、同じように交通ルールを守るように伝えてください。

○自転車乗車時の交通ルールについて

自転車は、「くるまのなかま」(軽車両)です。交通ルールやマナーを守り、道路標識や信号機に従って運転を心掛けましょう。

- ・車道の左側を通行する。
- ・歩道では、自転車通行帯内を通行する。自転車通行帯がない場合は、車道側を通行する。
- ・通行時には歩行者を優先する。
- ・二人乗り及び並進はしない。
- ・ヘルメットを確実に着用する。
- ・傘差し運転、スマートフォンやイヤホンを使用しながらの運転は、視界が狭くなったり、危険が察知できなくなったりするので、絶対にしない。

○横断歩道や交差点の横断について

横断歩道や交差点は事故が大変多い場所です。十分に気をつけて横断しましょう。

○危険予測について

事故はいつ我が身に降りかかるかもわかりません。車や歩行者がとび出すことや、車が動くかもしれないなど、自分で危険を予測し、自分の命を守れるようにしましょう。

★交差点では

- ・車や自転車、人が出てくると常に予測する。(危険予測)
- ・危険を予測した安全行動をとる。
- ・交差点では止まる、確認する。

★道路横断の時には

- ・運転手と目を合わせる。
- ・手を挙げたり、暗いときはライトをつけたりして運転手に自分の存在に気づいてもらう。

インターネット安全・安全通信より

新しい学校、新しいクラスになって、1ヶ月経ち、友達もたくさんできたと思います。仲良くなりたての時期こそ、SNSでのやり取りに注意をしましょう。せっかく、仲良くなった友達に誤解されると悲しいですね。インターネットのトラブルについて事例を挙げます。(裏面に続く)





★大事なポイント★
○誹謗中傷≠批判意見
相手を傷つける言葉や言い回しは、批判ではなく誹謗中傷。絶対に投稿・再投稿をしてはいけません。

○匿名性による気のゆるみ
名乗りなくとも、それが誰かがわかる仕組みがあります。投稿する内容には責任をもって。

○カッとなっても立ち止まって
怒りにまかせた投稿は炎上したり訴えられたりすることもある。勢いで投稿しない習慣を身につけましょう。

【もっと詳しく】
～「目立つ存在なので仕方がない」という主張は通用しない～
SNS上で、悪意を感じる投稿を見かけることがあります。中には「正義感からやったこと」と主張する人もいますが、「立場」や「事実かどうか」を問わず、人格を否定または攻撃するような投稿は正義ではありません。

近年、動画投稿者・配信者やインフルエンサー、事件・事故の関係者ほか、『有名な人』と感じる範囲が広がると共に、主体的に投稿する人以外の“安易に再投稿・拡散する人”も増えています。たくさんの悪口が集まれば、集団攻撃となり人を酷く傷つけます。たとえ相手がどんな人であっても、単に再投稿しただけであっても、民事上・刑事上（損害賠償請求、名誉毀損罪や侮辱罪による懲役刑や罰金刑など）の責任を問われる可能性があります。

このことを肝に銘じて、法律や利用規約などのルールやモラルを意識した、正しい利用を心がけましょう。